

全国レディース中央会 × 全国中小企業青年中央会

特集

～若手と女性力でニューノーマル時代を牽引する!!～



全国中小企業青年中央会・大久保高明会長



全国レディース中央会・吉田陽子会長

令和3年10月7日に全国中小企業団体中央会、全国レディース中央会、宮崎県中小企業団体中央会、宮崎県レディース中央会の連携により開催した「レディース中央会2021 全国フォーラムin宮崎」には、全国中小企業青年中央会から大久保高明会長、惠南敏弘副会長、藤井俊之副会長が参加しました。全国フォーラムの開催に先立ち、吉田会長と大久保会長との対談が実現しました。

大久保会長（以下、大久保） 本日は、「レディース中央会2021 全国フォーラムin宮崎」のご盛会、誠にありがとうございます。コロナ禍において、開催への決断やご準備など、さぞ大変だったと思います。

基調講演やパネルディスカッションも素晴らしい講師の方々に楽しみます。

吉田会長（以下、吉田） ありがとうございます。お話しのとおり、開催については、本当に悩みました。また、いろんなご意見もいただき、開催を断念しようかと思った時も何度もありました。

ただ、こんな時だからこそ、みなさんにお会いして、みなさんの笑顔が見たい、みなさんとまた一緒に頑張るといふ思いを共有したい!! という強い気持ちで、思い切って決断いたしました。

まさに“女は度胸”といった感じでしょうか(笑)
今年の7月に開催された全国レディース中央会の通常総会において、会員総意のもと、フォー

ラムの開催を決断し、宮崎県レディース中央会において7月から実行委員会を開催し、9月にはホテルの試食会や、本日お渡しするお土産の協賛のお願いなど、宮崎県レディース中央会の会員が団結して協力していただきました。

また、開催にあたっては、全国レディース中央会役員のみなさんの温かい励ましや、事務局のご支援、そして何より開催において、本当に誠心誠意、骨を折っていただいた宮崎県中央会のみなさまには、専務理事、事務局長をはじめ、職員の方々が一体になって支援をいただきました。今回のフォーラム開催を迎えられたことを、改めて宮崎県中央会へ心から感謝しております。

～ニューノーマルの時代にむけて～

大久保 素晴らしい団結力ですね。これも吉田会長のお人柄や日頃のみなさまとの接し方の賜物だと思います。会長のご苦勞は本当によくわ

かります。

全国中小企業青年中央会（以下「全青中」という）でも、各都道府県の会員との直接的な交流は非常に大切にしています。特に毎年秋に実施している全国講習会は、昨年は、止むなくオンライン開催となり、悔しい思いをいたしました。今年は日程を変更して、何とかリアル開催をする準備をしています。

ただ、ニューノーマルの時代対応として、新しい取組みも始めています。例えば、2月には「青年部活動を止めるな」と題したセミナーを実施してオンライン活動をいち早く打ち出し、次に6月に実施した通常総会・UBAサミットでは、何台ものカメラや照明などの撮影設備をすべて自分たちで準備し、少ない予算のなかでもプロ並みの映像配信やZOOMを使用したオンラインでのディスカッションを実施し、全国中央会が紹介している「新しい総会制度導入ガイド～バーチャルオンリー総会」のハイブリッド型をいち早く全国総会にて成功させました。また各県代表者以外の会員・事務局のみなさんにはYouTubeにて配信も行いました。

8月に実施した全国青年友好4団体トップ会議（全国中小企業青年中央会、全国商工会青年部連合会、日本商工会議所青年部、公益社団法人日本青年会議所）において、当会が幹事団体として私の地元、北海道の旭川で人数制限しながらリアルで開催し、同時に複数カメラや6台のモニターを駆使した映像配信に参加できなかった全国のメンバーむけに行いました。後で事務局から聞いた話ですが、他団体の会長が配信の素晴らしさに刺激されて、事務局にプレッシャーをかけられて困っているらしい（笑）とうかがいました。他の団体に中央会の存在感を示せたのは良かったのかなと思います。

これも素晴らしいメンバーに支えられてのことに感謝しています。

吉田 素晴らしいお話ですね。大久保会長のリーダーシップが成果につながっているのでしょうか。それと、やっぱり若い力は素晴らしい（笑）レディース会としても大いに見習いたいと

思います。

私たち全国レディース中央会にも若い方はたくさんいらっしゃるのですが、比率からいうとデジタルは少し苦手な方も多いかもかもしれません。私自身もオンラインでは事務局の力を借りました。

レディース中央会もコロナ禍で、大きな会議やイベントは難しいなか、小規模の打ち合わせやLINEなどでのコミュニケーションを大切にしています。

特に異業種が交流できる場として、世代を超えて情報交換などできるように青年中央会とも『いいとこどり』ができるように協力していただきたいですし、ぜひ、青年部の方々のお力をお借りできたらと思います。

～課題と今後の方向性について～

大久保 もちろんです。そのときは喜んでご協力させていただきます。

ところで全国レディース中央会の一番の課題はどういったところですか？

吉田 やはり会員がまだまだ少ないことです。全国レディース中央会は設立から15年程度で歴史が浅く、現在、会員数が29と全国に設置ができていないのが現状で、全国にレディース中央会を設立するのが最大の目標です。新しい会員の加入を増やすためには、もっと魅力的な活動を充実していかなければと思っています。

昨年は全国中小企業組合士協会とご一緒にWEBセミナーを企画し、各地域で起業支援や地域活性化に活躍をされている女性に登壇いただきました。会員の中にも各地域や中央会において、講演やイベントなどでご活躍している素敵な方がメンバーにはたくさんいらっしゃいます。

全国のそれぞれの地域で気候が違えば、考え方や活動なども違っていると思いますし、そういった全国の方々とはできるだけ幅広く交流を図っていきたくと思っています。

また、女性ならではの感性を活かして活躍している方をもっと全国にご紹介したり、交流を

深めたりしたいと思っています。

なぜ、レディース中央会が存在しているのかをもう一度考えて、女性の方々がもっと活躍できるようにお手伝いしたいと思っています。

宮崎県レディース中央会は、おかげさまで親会とも非常にいい関係を築かせていただいております。さまざまな支援を受けて、県内の商工会議所や商工会との交流などを行っています。

今回、大久保会長からこのような対談のお話をいただき、本当に嬉しく思っています。今後、親会も含めて、青年部会ともより一層の交流をお願いしたいと思っています。

大久保 そう言っていただけると私どもも嬉しいです。

全青中もおかげさまで全国47都道府県に設置できてはいますが、まだまだ会員の拡大は必要で特に女性の会員を増やしていくことは重要だと思っています。今回、対談をご提案したのも全国中小企業組合士協会も含めてお互いのイベントをご案内したり、それぞれのネットワークを使って会のPRをできれば、もっと素晴らしい会にできると思っています。

お恥ずかしい話ですが、全青中の役員として出向する以前はレディース中央会や組合士会のごことはまったく知りませんでした。自分が会長になったときに同じ中央会に所属している素晴らしい会がお隣にあるのに、お互いが何を活動しているかを知らないということはすごく残念だと思ったり、同じ志をもった団体がお互い協力しあって活動できればもっと大きなスケールメリットのものが生まれるのではとも思いました。各都道府県青中が地域の中央会内部でもっと認知され、活動しやすくなることも全国会長としての私の役目だと思っていますので、これからも全青中・各都道府県青中のことを叱咤激励、よろしく願いいたします。

あらためて今回このような機会を与えていただき参加者のみなさまとできるだけ交流して、今後各地域、都道府県単位においてもレディース中央会と青年中央会が交流できるようなきっかけを作れたらと思っています。

～連携による活性化にむけて～

吉田 参加者のみなさんも地元でレディース会をいかに活性化するかを常に考えていらっしゃるの、こういったきっかけができるのは非常にありがたいと思います。

私どもも資金面や人材不足でやりたいことがなかなかできないなか、ご一緒することでいろいろと可能性が広がると思います。ぜひ、地域ごとの連携も行っていきたいと思っています。

大久保 われわれも大分で全国講習会を予定しており、今回の式典からいろいろ学びたいです。

全国青年中央会は、メンバーのほとんどが男性でどちらかというとガサツ、レディース中央会のきめ細やかさや華やかさをぜひ、学びたいと思います。

女性の感性については、ご指摘のとおりだと思います。

昨年度の全国講習会を2月に実施しましたが、初めて女性に講師をお願いしました。

京都の『佰食屋』という飲食店の中村さんという方の話で、1日100食しか提供しない大人気の飲食店です。100食が売り切れたら、150、200食と拡大していくのが一般的な考えだと思うのですが、中村さんは、人気が出た後も、あえて100食に限定して余った時間を家族の時間や従業員とのコミュニケーションなどに当てている。食品ロスにもならず、幸せを追求する女性目線で新鮮に感じ感動しました。

資金面では、全青中もいつも苦労しています(笑)。ただ、いろいろな提案をしていくなかで親会(全国中央会)からも期待が高まっているのは感じます。

去年は、さまざまな災害に対して、支援金とともにタイミングを見計らって現地へ赴き、調査をさせていただき、さまざまなご意見を頂戴することができました。青年部の特徴として、実際に動く実行部隊としての期待感は大きく、このような青年部の災害支援ネットワークについては、トラック協会や倉庫業組合など全国中央会会員の青年部までに広がっており、自民党

青年局からも注目されています。また、今年度は組合のDXについて、研究会を立ち上げ、組合を中心とした中小企業の活性化の提言を行っていく予定です。

全国中央会からは広報発信についても力を貸してほしいと言われております。

ぜひ、全国レディース中央会とも一緒にいろいろと行っていききたいと思います。

吉田 頼もしいお言葉です。

役員同士のミーティングなども定期的にできれば、いろいろなアイデアが出てくると思います。私たちがお手伝いできることもあるのではと思います。

女性の感性は、経営にとって新鮮な点もあると思います。

個人的なことですが、私が経営している会社（木材製造業）では、創業から夫婦と役員、男女2人ずつで相談しながら、経営をしておかげさまでうまくいっています。いわゆる男女共同参画を先取った形でした。そのなかでは、売上規模の追求から質や利益の追求に重点を移していったことが成功要因になっています。や

はり、経営にも女性の感性は、必ず役に立つと身をもって確信しております。

本日の講師、パネラーも非常に魅力的で楽しみにしてほしいです。多様性を大切にして、いいとこどりすることが重要だと思います。

本日のレディースフォーラムの特徴は、観光などのイベントも取り入れて、気分を高揚してもらうこと、服装も華やかに楽しさにもこだわっています。

全青中がネクタイやバッジを共通にしているのも素敵な連携です。レディース中央会も、バッジはみなさんにぜひ付けてほしいとお願いしています。

ぜひ、これを機会に継続した連携を実行できるよう、今後ともよろしくお祈りします。

大久保 はい。ぜひ、やりましょう。全青中は、令和4年には30周年記念式典がありますので、ご招待させていただきます。

吉田 ぜひ、お願いします。本日は本当にありがとうございました。

大久保 こちらこそ、ありがとうございました。



(左から) 大久保会長、吉田会長、全青中恵南副会長、藤井副会長



全国フォーラム・パネルディスカッション



(左から) 大久保会長、吉田会長、全国中央会森会長